

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について（周南市）

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組を通じ、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 令和4年4月19日（火）

(3) 調査の方法 悉皆調査

(4) 調査を実施した校数・児童生徒数

| 学 年     | 学校数 | 児童生徒数     |
|---------|-----|-----------|
| 小学校第6学年 | 27校 | 児童 1、123人 |
| 中学校第3学年 | 13校 | 生徒 1、060人 |

#### (5) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
  - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
    - 児童生徒に対する調査 【小学校…75項目 中学校…75項目】
    - 学校に対する調査 【小学校…113項目 中学校…111項目】
- ※ 新型コロナウイルスに関する質問が追加されているため、質問項目が増加している。

参考データ 令和4年度 平均正答率（%）

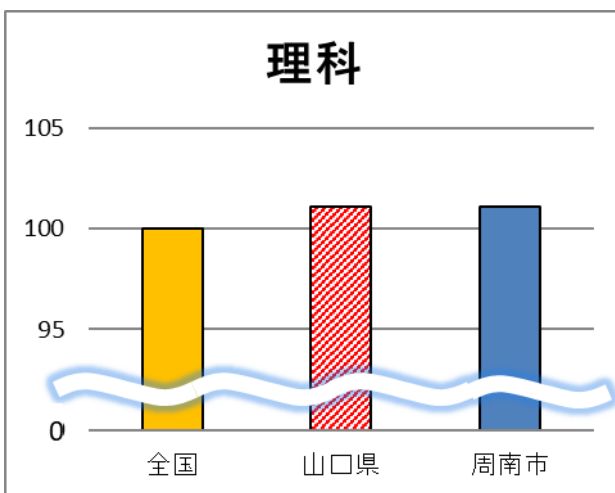
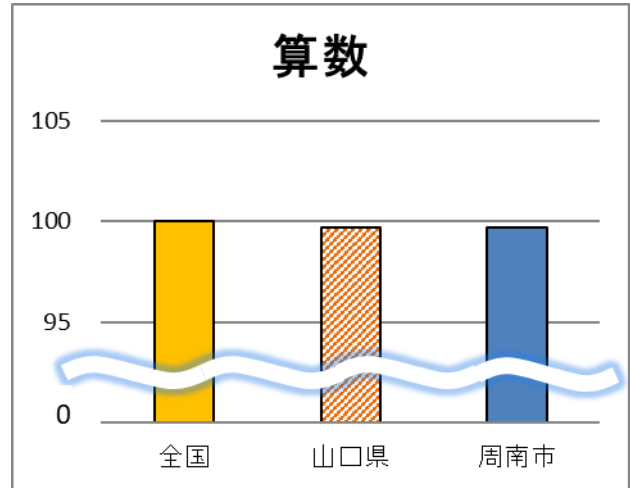
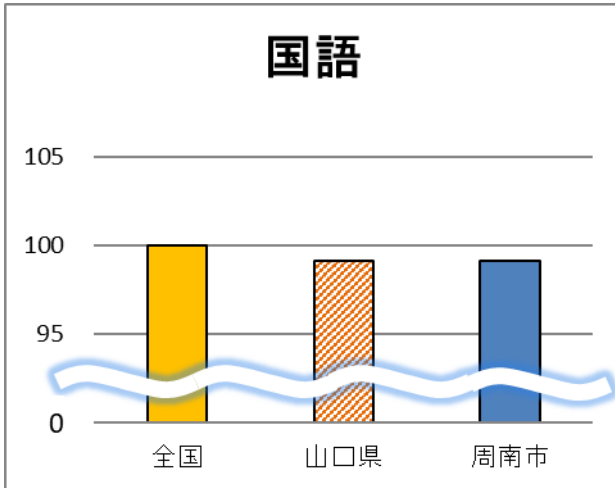
|     | 小 学 校 |      |      | 中 学 校 |      |      |
|-----|-------|------|------|-------|------|------|
|     | 国語    | 算数   | 理科   | 国語    | 数学   | 理科   |
| 全 国 | 65.6  | 63.2 | 63.3 | 69.0  | 51.4 | 49.3 |
| 山口県 | 65    | 63   | 64   | 70    | 52   | 49   |

## 2 結果の概要

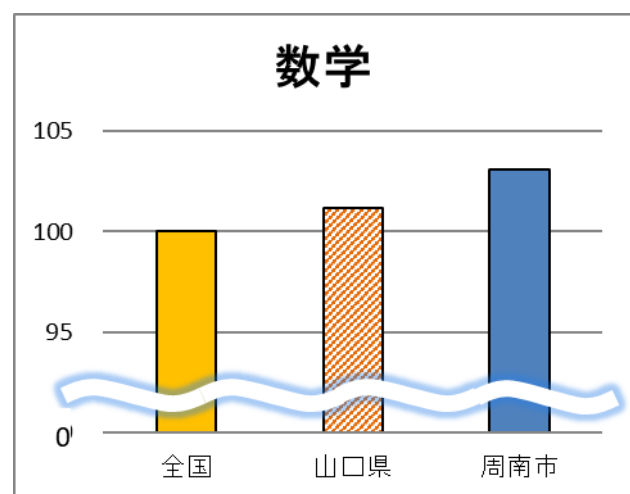
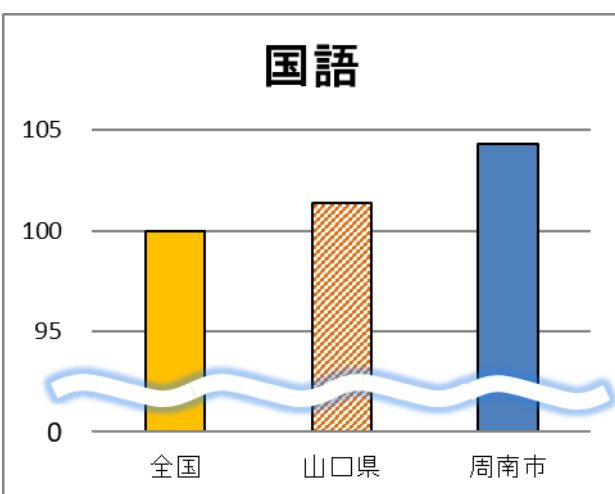
### (1) 教科に関する結果（グラフ）

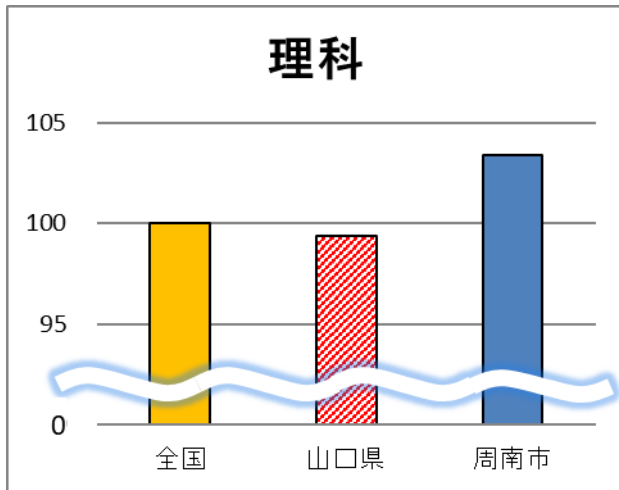
下のグラフは、令和4年度における全国平均正答率を100としたときの周南市と山口県の平均正答率の比を算出したものである。

#### <小学校>



#### <中学校>





## (2) 教科ごとの結果

※ 国や県の平均正答率との比較について、次のように表現する。

- ・ 1%未満の差 . . . 「同等」
- ・ 1%以上2%未満の差 . . . 「やや」
- ・ 2%以上4%未満の差 . . . 「かなり」
- ・ 4%以上の差 . . . . . 「大きく」

### ① 小学校国語

平均正答率が全国平均、県平均と同等である。

#### 【成果が見られた点】

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解する〔問題番号1一〕  
(選択式、全国正答率85.5% 全国をやや下回る)
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える〔問題番号1三〕  
(選択式、全国正答率84.7% 全国をやや上回る)
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く〔問題番号3四〕  
(選択式、全国正答率77.9% 全国をかなり上回る)

#### 【課題のある点】

- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる〔問題番号1四〕(記述式、全国正答率47.7% 全国と同等)
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える〔問題番号3一〕  
(選択式、全国正答率59.2% 全国を大きく下回る)
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける〔問題番号3二〕(記述式、全国正答率37.7% 全国と同等)

## ② 小学校算数

平均正答率が全国平均、県平均と同等である。

### 【成果が見られた点】

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる〔問題番号1（1）〕  
（短答式、全国正答率92.4% 全国と同等）
- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する〔問題番号1（3）〕  
（記述式、全国正答率76.0% 全国を大きく上回る）
- 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している〔問題番号4（2）〕  
（短答式、全国正答率83.2% 全国をやや上回る）

### 【課題のある点】

- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる〔問題番号1（4）〕（選択式、全国正答率34.8% 全国を大きく下回る）
- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している〔問題番号2（3）〕  
（選択式、全国正答率21.4% 全国を大きく下回る）
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる〔問題番号4（1）〕  
（記述式、全国正答率48.8% 全国と同等）

## ③ 小学校理科

平均正答率が全国平均、県平均をやや上回っている。

### 【成果が見られた点】

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる〔問題番号1（1）〕  
（選択式、全国正答率92.9% 全国をかなり上回る）
- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる〔問題番号1（4）〕  
（選択式、全国正答率76.1% 全国を大きく上回る）
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる〔問題番号4（1）〕  
（選択式、全国正答率82.3% 全国をかなり上回る）

### 【課題のある点】

- 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、

自分の考えをもち、その内容を記述できる〔問題番号 2 (4)〕

(記述式、全国正答率 39.3% 全国をかなり上回る)

- 日光は直進することを理解している〔問題番号 3 (1)〕  
(選択式、全国正答率 27.8% 全国をやや上回る)
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる〔問題番号 3 (4)〕  
(記述式、全国正答率 35.1% 全国をやや上回る)

#### ④ 中学校国語

平均正答率が全国平均、県平均をかなり上回っている。

##### 【成果が見られた点】

- 助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う〔問題番号 2 一〕  
(選択式、全国正答率 82.3% 全国をかなり上回る)
- 文脈に即して漢字を正しく書く〔問題番号 2 二①〕  
(短答式、全国正答率 82.1% 全国をかなり上回る)
- 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する〔問題番号 4 二〕  
(選択式、全国正答率 90.1% 全国をかなり上回る)

##### 【課題のある点】

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く〔問題番号 2 三〕  
(記述式、全国正答率 46.5% 全国をかなり上回る)
- 表現の技法について理解する〔問題番号 3 一〕  
(短答式、全国正答率 52.5% 全国をかなり上回る)
- 行書の特徴を理解する〔問題番号 4 一〕  
(選択式、全国正答率 39.4% 全国と同等)

#### ⑤ 中学校数学

平均正答率が全国平均、県平均をやや上回っている。

##### 【成果が見られた点】

- 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる〔問題番号 2〕  
(短答式、全国正答率 74.5% 全国をやや上回る)
- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している〔問題番号 5〕  
(選択式、全国正答率 83.3% 全国をやや上回る)
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる〔問題番号 6 (1)〕  
(短答式、全国正答率 73.8% 全国をやや上回る)

【課題のある点】

- 一次関数の変化の割合の意味を理解している〔問題番号4〕  
(選択式、全国正答率37.9% 全国をかなり下回る)
- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる〔問題番号6(3)〕  
(記述式、全国正答率37.6% 全国と同等)
- 道筋を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる〔問題番号9(2)〕  
(記述式、全国正答率12.5% 全国をやや下回る)

⑥ 中学校理科

平均正答率が全国平均をやや、県平均をかなり上回っている。

【成果が見られた点】

- モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できる〔問題番号1(2)〕  
(選択式、全国正答率78.5% 全国と同等)
- 化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができる〔問題番号1(4)〕  
(選択式、全国正答率80.1% 全国と同等)
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できる〔問題番号4(1)〕  
(記述式、全国正答率74.5% 全国と同等)

【課題のある点】

- 飛行機雲の残り方を科学的に探究する場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できる〔問題番号2(3)〕  
(選択式、全国正答率28.5% 全国と同等)
- 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できる〔問題番号3(3)〕  
(短答式、全国正答率24.8% 全国をかなり上回る)
- 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できる〔問題番号5(1)〕  
(選択式、全国正答率15.3% 全国をかなり下回る)

(2) 生活習慣や学習習慣等に関する結果

※ 国や県の回答率と比較して、0%以上2%未満の差は「同程度」と表現する。

① 児童に対する調査（小学校）

| 質問事項   | グラフ | 分析・評価   |
|--|-----|---|
| 朝食を毎日食べていますか   |     | 国や県と比べ、「している」とした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。          |
| 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか   |     | 国と比べ、肯定的回答をした児童の割合は小さい。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。   |
| 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか                 |     | 「3時間以上」と回答した児童の割合は、国や県と比べて少ない。昨年度と比較し、「3時間以上」と回答した市内の児童の割合は、同程度。  |
| 自分には、よいところがあると思いますか  |     | 国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、減少している。       |
| 将来の夢や目標を持っていますか  |     | 国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、増加している。       |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか   |     | 国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。          |
| 学校に行くのは楽しいと思いますか   |     | 国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、増加している。       |
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）   |     | 国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。          |
| 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） |     | 「2時間以上」と回答した児童の割合は、国や県と比べ低い。昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の児童の割合は、減少している。 |
| 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）                                 |     | 「30分以上」と回答した児童の割合は、国や県と比べ同程度。昨年度と比較し、「30分以上」と回答した市内の児童の割合は、同程度。   |
| 今住んでいる地域の行事に参加していますか   |     | 国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、減少している。        |
| 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか  |     | 国と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。県と比べると、同程度。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。  |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>5年生までに受けた授業で、P C・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか</p>     |  | <p>国と比べ、「週3回以上使用した」と回答をした児童の割合は同程度。県と比べると、低い。昨年度と比較し、「ほぼ毎日使用した」と回答をした市内の児童の割合は、増加した。</p> |
| <p>5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</p>    |  | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は低い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、減少している。</p>                       |
| <p>学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか</p> |  | <p>国と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。県と比べると低い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>                  |
| <p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p> |  | <p>国と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。</p>                  |

## ② 生徒に対する調査（中学校）

| 質問事項   | グラフ | 分析・評価  |
|--|-----|--|
| 朝食を毎日食べていますか   |     | <p>国や県と比べ、「している」とした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>            |
| 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか                                   |     | <p>国と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は低い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>              |
| 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか |     | <p>「3時間以上」と回答した生徒の割合は、国や県と比べて低い。昨年度と比較し、「3時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、減少している。</p>  |
| 自分には、よいところがあると思いますか  |     | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>           |
| 将来の夢や目標を持っていますか  |     | <p>国と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>    |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか   |     | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>           |
| 学校に行くのは楽しいと思いますか   |     | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>            |
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）   |     | <p>国と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p> |



|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）</p> |  | <p>国と比べ、「2時間以上」と回答した生徒の割合は、低い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、減少している。</p> |
| <p>学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）</p>                                  |  | <p>国と比べ、「1時間以上」と回答した生徒の割合は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、「1時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、減少している。</p>  |
| <p>今住んでいる地域の行事に参加していますか</p>   |  | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>                |
| <p>地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか</p>  |  | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>                   |
| <p>1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか</p>  |  | <p>国や県と比べ、「週3回以上使用した」と回答をした児童の割合は高い。昨年度と比較し、「ほぼ毎日使用した」と回答をした市内の児童の割合は、増加した。</p>   |
| <p>1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</p>  |  | <p>国と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>        |
| <p>学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか</p>  |  | <p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>                  |
| <p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p>  |  | <p>国と比べ、肯定的な回答をした生徒は高い。県と比べると同程度。昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>              |

### ③ 学校に対する調査

下に示した調査項目は、周南市内の小・中学校の学校質問紙への回答について、全国と比較して、望ましい傾向にある項目を○で、やや課題の見られる項目を●で示したものである。（学校の教育活動全般についての前年度までの取組等について回答）

#### 学習指導、校内研修に関すること

- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
- 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか
- 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか
- 調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相

手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか
- 〈中学校において〉調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか  
→「あまり行わなかった」と回答した割合が、全国に比べ高い

#### 小中連携に関すること

- 前年度までに、近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
- 前年度までに、近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか
- 令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小中学校と成果や課題を共有しましたか

#### 地域連携に関すること

- 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか
- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか
- 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

### 3 今後の取組

#### 【周南市教育委員会】

- 本市独自に作成し、継続して修正・改善を加えている「授業づくりのスタートライン」の更なる周知徹底を図り、授業の導入や終末の改善、言語活動の充実に焦点を絞り、引き続き授業改善に取り組んでいく。

授業づくりのスタートライン - 小学校 - Ver.R4

周南市教育委員会

押えておきたいポイントおよび留意事項

**めあて** を示す

めあての吟味を!!  
 「学習への意欲が高まる」「活動の見通しがある」「長すぎず、まとめで締結する」ような具体的なめあてを考慮しましょう。  
 (例) なぜ○○だろうか。  
 ○○になるひみつ(原因)を探ろう。  
 ○○の工夫を見つけよう など。

○ 本時に身に付けさせたい資質・能力等を教師が明確にもち、児童にとって必要感のあるめあてや学習課題を設定しましょう。  
 ○ めあてを示すタイミングを工夫し、黒板に分かりやすく示しましょう。

学習課題の追究を促す **主発問** をしたり

**活動** を仕組んだりする

○ 主発問に対して、児童が自分の考えをもち、表現する場を設けましょう。  
 ○ 思考力・判断力・表現力等を育成するために、**授業形態を工夫し**、言語活動を積極的に仕組みましょう。

めあてや学習課題に対応した **まとめ** を行う

○ 本時の学びを、教師がまとめるだけでなく、児童一人ひとりに自分の言葉でまとめさせるなどの工夫も大切です。

自己の学びを **振り返る** 場を設ける

振り返りの視点(例)  
 ・めあてが達成できたか。  
 ・本時の学習がどの程度理解できたか。  
 ・本時の前後で変わったこと。  
 ・自分や友達の違いに立った意見や考え、学び方。  
 ・次の時間にどんな学習をしたいか、など。

○ 身に付けさせたい資質・能力が身に付いたか確認しましょう。また、児童が自己の変容や伸びを実感できるようにしましょう。  
 ○ 振り返りを価値づけましょう。  
 ○ 振り返りを児童が共有する場を設定しましょう。  
 ○ 問いを共有し、次時への見通しをもたせましょう。

○ 児童にとって、**分かりやすい(学習したことがよく分かる)板書**となっているか、確認しましょう。  
 ○ 「生徒指導の3機能」(周南市教育委員会)の視点から授業を見直してみよう。  
 ・自己存在感 ・自己決定の場 ・共感的な人間関係  
 ○ 特別支援教育の視点からも授業を見直してみよう。  
 (例) 指示は短く、はっきりと、落ち着いた口調で など  
 ○ ICT や教員を効果的に活用しましょう。

授業づくりのスタートライン - 中学校 - Ver.R4

周南市教育委員会

押えておきたいポイントおよび留意事項

**めあて** を示す

めあての吟味を!!  
 「学習への意欲が高まる」「活動の見通しがある」「長すぎず、まとめで締結する」ような具体的なめあてを考慮しましょう。  
 (例) ○○の視点で口頭を捉えよう。  
 ○○になる理由を考えよう。  
 工夫して○○しよう など。

○ 本時に身に付けさせたい資質・能力等を教師が明確にもち、適切なめあてや学習課題を設定しましょう。  
 ○ 「授業のめあて」や「学習課題」は、提示するタイミングを工夫し、黒板に分かりやすく示しましょう。

めあての達成や学習課題の追究に向けた **主発問** をしたり

**活動** を仕組んだりする

○ 主発問に対して、生徒一人ひとりが自分の考えをもち、表現する場を設けましょう。  
 ○ 思考力・判断力・表現力等を育成するために、**授業形態を工夫し**、言語活動を積極的に仕組みましょう。

めあてや学習課題に対応した **まとめ** を行う

○ 本時の学びを、教師がまとめるだけでなく、生徒一人ひとりに自分の言葉でまとめさせるなどの工夫も大切です。

自己の学びを **振り返る** 場を設ける

振り返りの視点(例)  
 ・めあてが達成できたか。  
 ・本時の学習がどの程度理解できたか。  
 ・本時の前後で変わったこと。  
 ・自分や友達の違いに立った意見や考え、学び方。  
 ・次の時間以降で、さらに知りたいこと、など。

○ 身に付けさせたい資質・能力が身に付いたか確認しましょう。また、生徒が自己の変容や伸びを実感できるようにしましょう。  
 ○ 振り返りを価値づけましょう。  
 ○ 振り返りを生徒が共有する場を設定しましょう。  
 ○ 問いを共有し、次時への見通しをもたせましょう。

○ **構造的な板書(学習したことがよく分かる板書)**にするために、板書計画をもって授業に臨みましょう。  
 ○ 周南市教育委員会が示す「生徒指導の3機能」の視点から授業を見直してみよう。  
 ・自己存在感 ・自己決定の場 ・共感的な人間関係  
 ○ 特別支援教育の視点からも授業を見直してみよう。  
 (例) 指示は短く、はっきりと、落ち着いた口調で など  
 ○ ICT や教員を効果的に活用しましょう。

- 各小中学校における関係者を招集し、学力向上担当者会議を開催する。全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく本市の傾向や課題を周知するとともに、すぐに実践できる授業改善の具体的例示を行う。更に、会議の中で、各校が進めている学力向上に向けた取組について情報を共有したり協議したりする場を設けることで、今後の取組の活性化を図る。
- 定期的に、学力向上推進リーダー、英語教育推進教員とともに学力向上対策会議を開き、各校における学習状況や授業づくりについての情報や成果・課題を共有する。更に課題を踏まえた上で、授業改善の視点を明確にしながら、同一歩調で各校の指導に当たるようにする。また、各校への訪問の中で、学力向上につながるような取組があった場合には、学力向上便り等で広めていく。
- 学校がもつ教育力を更に高めるために、周南市教育研究センター主催の若手教員の研修会等を通して、教師の指導力向上、授業改善の支援に努める。